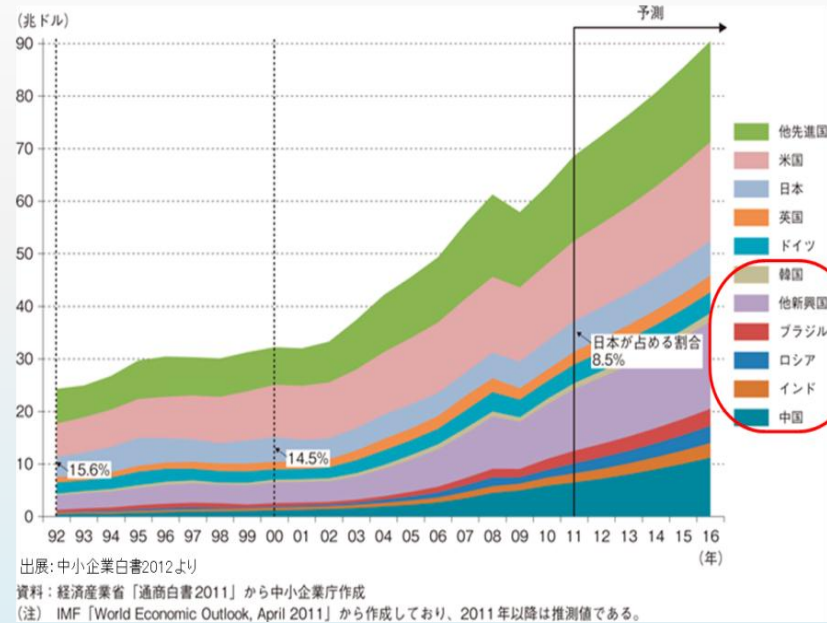


機械産業の特徴

- 本県製造品出荷額の約7割を占めており本県経済成長への影響が大きい。
- 生産用機械器具製造業が集積(特化係数で1.23(全国平均1.00))
- ニッチトップ企業が集積(グローバルニッチトップ企業数全国4位)
- 高等教育機関が集積
- 電気・電子産業の台頭による産業構造の多軸化が進展
- 金沢港の利便性向上、北陸新幹線の金沢開業、能登有料道路の無料化など産業インフラの整備・活用が進行

今後10年を見据えた機械産業を取り巻く環境変化

- 総人口や生産年齢人口の減少による国内市場縮小・停滞のおそれ
- 製品の市場寿命 世界の名目GDPの推移の短期化
- グローバル化の進展(新興国市場の拡大や大手企業の海外シフト)
- 炭素繊維複合材料、医療、航空機分野など、新産業分野の市場拡大
- 生産年齢人口の減少
- 生産設備の老朽化



県内企業の声(アンケート結果)

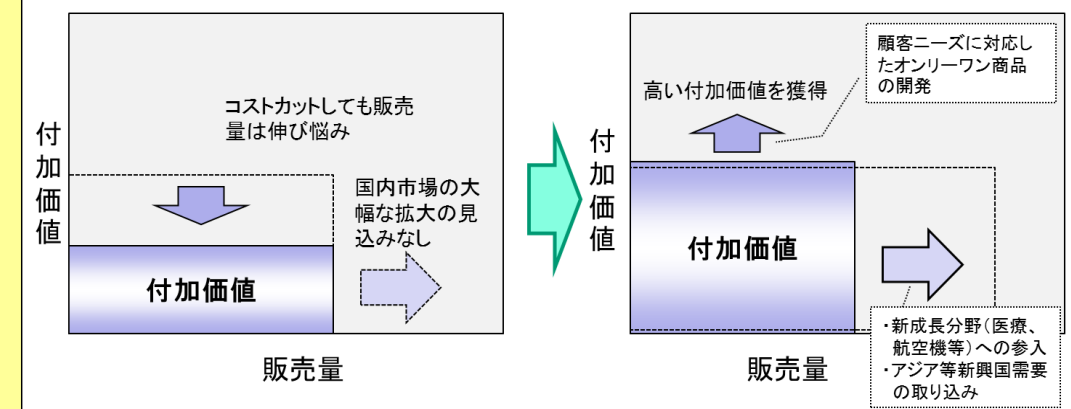
- 経営に影響を与える環境変化として、「価格競争による単価の低下」「円高などの為替変動」「取引先市場の海外移転」が上位
- 重点的に取り組んでいるまたは取り組もうとしていることは、「新製品・新技術の開発」「人材の育成・確保」「国内における販路開拓」が上位
- 人材育成の課題は「若手社員のモチベーション向上」「若手技術者の技能向上」「製造管理者の育成」

機械産業戦略の柱と今後の主な取組

【目標】

顧客ニーズに対応したオンリーワン(ニッチ)商品開発により、高い付加価値を獲得するとともに、アジア等の新興国需要や炭素繊維複合材料、医療・航空機等の成長市場の需要の取り込みにより、販売量を増加させるとともに、産業の多軸化を進め、変化に強い構造構築を目指す。

【イメージ図】



新商品開発・販路開拓の促進

- ・停滞する国内市場に打ち勝ち、また、海外の需要を獲得するには、製品開発による新規需要の創出が重要。
- ・その際、顧客ニーズに対応した付加価値の高いダントツ製品の開発が重要。
- ・産学の集積や技術力を結集する。
- 今後の主な施策
 - 製品開発支援の拡充
 - 技術提案型等の商談会の開催
 - ニッチトップ企業等の支援
 - 産学官連携によるイノベーション創出のプラットフォーム整備
 - ブランディングと販路開拓

産業基盤の強化

- ・生産性向上のための投資や産業インフラの整備が競争力向上に必要。
- ・企業誘致などにより産業構造に厚みを持たせることが重要。
- ・事業承継を円滑化し、創業を促進する産業の新陳代謝が重要。
- 今後の主な施策
 - 設備投資への支援
 - 企業誘致の助成対象の拡大
 - 戦略的企業誘致の推進
 - 事業承継の円滑化
 - ベンチャー気運の醸成
 - 企業経営に資する専門家派遣
 - 十分な制度融資枠の確保

グローバル展開の促進

- 金沢港などのインフラを活用しつつ、企業のグローバル展開を増やし、拡大する新興国市場を取り込む。
- 今後の主な施策
 - 海外情報収集や商談会等による販路開拓等の支援
 - 現地ネットワークの構築などの支援体制の整備
 - コンテナ貨物の集荷強化、合い積の輸送推進

成長市場・新分野への参入の促進

- 炭素繊維複合材料、医療機器、エネルギー等の分野への参入を拡大し、産業構造の多軸化を図る。特に関連の深い新技術の台頭には迅速に対応する。
- 今後の主な施策
 - 研究会や革新的研究開発を支援
 - 工業試験場に先端機器を整備
 - 研究者の確保・育成を支援

人材の育成・確保

- ・本県の生産年齢人口が減少していく中、高度専門人材、グローバル人材など企業の価値創造をリードする人材確保・育成環境の整備を強化していく。
- ・高度専門人材の育成のため、高等教育機関と連携。
- ・現場の技術者の技術力を維持・向上。
- 今後の主な施策
 - 高度専門人材の確保・育成支援
 - グローバル人材の確保・育成支援
 - 次世代の経営者育成
 - 技術者の確保とスキル向上・継承支援
 - 元気な高齢者等の活用促進
 - 企業と学生のマッチング促進